

# 大野岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年3月21日発行 文責 校長 中尾 聡彦

## 先輩と語る会

3月5日(火)に、7・8年生を対象に「先輩と語る会」が行われました。今年度は、伊万里高等学校、伊万里実業高等学校、唐津工業高等学校、敬徳高等学校から、合計5名の卒業生に来校してもらい、学校での様子の紹介や質問に答えてもらいました。すべての先輩に共通した話は、「今から勉強をする習慣をつけておくことが大切だ!」ということでした。大学や専門学校への進学、就職、資格の取得など、高校生活では、自ら学ぶ姿勢が大切だということを切々と話してもらいました。親近感のある先輩の言葉は、自分の進路について考えるととてもいい機会になったと思います。

## 学校評価

学校評価へのご協力ありがとうございました。

様々な意見をいただきましたので、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。評価結果については学校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

学校だよりでは、学校運営協議会でいただいた学校関係者評価を含めて、主なご意見や評価を紹介します。

### ○ デジタルドリルの活用について

本校では、デジタルドリルを活用した学習を朝の時間に設定しています。活用の様子を見ていると、個々の進度に合わせた学習がなされています。この取り組みは、広報誌で紹介され、モデル的な取り組みとなっています。一方、デジタルドリルでは培うことが難しい記述や口頭で説明するような表現力の育成は今後の課題であると思えます。

### ○ いじめへの対応について

いじめへの対応は非常に重要なことであると考えています。SNS をはじめ目に見えないものがあり、学校では毎月のアンケートなどで些細なことも把握するよう努めています。学校運営協議会では、『「最近、子どもの様子が…」』『「最近、こんなことがあっているが…」』』などの保護者からの情報提供が必要だが、先生との関係性が十分ではない場合は話しにくいという意見もありました。年度初めの学級懇談会などで、相談体制については話題に挙げる必要があると思えます。

### ○ 業務改善について

働き方改革は、全国的な課題です。本校の場合も、翌日の授業の準備(教材研究)、行事などの準備により、超過勤務が目立つ状況です。児童生徒に「わかる授業を!」「確かな学力を!」「思い出に残る行事を!」という教育に対する情熱や、「保護者の方々の期待に!」という使命感によって支えられているものでもありますが、健康を損ねては子どもたちのためにはなりません。以前と比べるとメリハリをつけた働き方に変わってきてはいますが、保護者の方々のご理解を得ながら、再度、業務の精選や分担について見直しを図りたいと思えます。

## 第6回卒業証書授与式 27名が巣立っていきました

3月8日(金)に卒業証書授与式が挙行されました。コロナ禍も明け、今年度は1年生から8年生の全校児童生徒が、9年生の卒業を祝福しました。厳かな雰囲気の中に感動のある素晴らしい式になりました。以下は、式辞の一部です。

<式辞(一部抜粋)>

私は、二学期の終業式で、マザー・テレサの言葉を紹介しました。マザー・テレサは、貧困や病に苦しむ人々の救済に生涯をささげ、ノーベル平和賞を受賞した偉大な方です。再度、このマザー・テレサが残された言葉を紹介します。

「あなたは、この世に生まれてきた大切な人」

この言葉の意味を考えてみてください。あなたのことを大切に考えてくれる人の顔を思い浮かべてください。あなたが、そういう存在であると言うことは、隣にいる人もあなたと同じように、その人のことを大切に考えてくれる人がいる、そんな存在なのです。

その大切な存在であるみなさんには、それぞれに人生があります。また、成し遂げたい夢や目標があると思います。

みなさん一人一人が、人生を歩む中で…、夢や目標を追い求める中で…。あなたの気持ちを理解し、寄り添ってくれる人がいたら…。自分が仲間の夢や目標を応援する人になることができた…。このような関係は、みなさんの人生を豊かにしてくれるに違いありません。また、この関係を構築するためには、鍋島直正公に注がれた「人の気持ちの分かる、優しい人に」という願いをみなさん自身が行動としてあらわす必要があります。

みなさん、「人の気持ちの分かる、優しい人に」という言葉を心にとめて、輝かしい未来を拓いていってください。



## わが母校への思い

南波多郷学館は「地域と共にある学校」です。保護者や地域の方々から様々なご支援をいただきながら子どもたちは学んでいます。世間では、育友会活動自体が成り立ちにくくなっている中で、本校はコミュニティ・スクールのモデル校として保護者や地域の方々からお力添えをいただいているところです。前田教一様(笠椎在住)からは、母校へのあたたかな思いをご寄附という形で示していただき、この度「登校坂の桜の植樹」「『あいさつ・へんじ日本一』の木柱設置」「学校教育目標の看板作成(伊万里実業高等学校作成)」に活用させていただきました。前田様の母校への思いを子どもたちと大切にしていきたいと思っております。前田様、ありがとうございました。

